

鳥栖・三養基地域自立支援協議会 第一回医療的ケア児ワーキンググループ議事録

日時：令和 7 年 6 月 26 日(木) 9：30～11：00

場所：鳥栖市役所 3 階大会議室1.2

参加者： 30名

○議題

① 令和7年度事業計画について

(キャッチホームページをご確認下さい)

② 佐賀県医療的ケア児支援センターについて

佐賀県医療的ケア児支援センター副センター長 大野真如氏より

(活動内容紹介)

③ 医療的ケア児の通学支援について

○鳥栖・三養基地域の現状

- ・保護者より通学、学校生活の話の説明
- ・アンケート結果の共有

○他地域の現状

(就学奨励費を利用した通学、タクシー券利用しての通学、移動支援を利用しての通学を各市町のホームページから参照)

○グループディスカッション

～この地域で暮らす医ケア児の通学支援について各グループから出た意見～

1グループ

- ・保護者、児童、他事業所が入ると情報が伝わりにくいかもしれない、普段関わっている事業所が参入できるか不安がある
- ・訪問看護が実施しているレスパイト事業に送迎も組み込めると参加しやすいのではないかな。
- ・申し送りチェックシートを共有すると以前の分も見返す事ができ保護者負担も軽くなると思う
- ・放デイ事業所が午前中、学校へ送るサービスは送迎加算の単価を増やさないと難しい。人員の確保が難しい。
- ・モデル事業として1組、通学の取り組みをしてみたら今後の参考になり進んでいくと思う
- ・看護師同乗の送迎専門があれば保護者負担が減ると考える
- ・送迎費用が高いと、保護者の収入面など考えると難しくなると思うので就学奨励費など一部公的負担があると良いかと思う

2グループ

- ・日頃関わっている事業所だけでなく複数の事業所が関わることで多くの支援が得られるのではないかな
- ・普段からケアを行っている訪問看護師が関わっていると安心なので送迎バスにも看護師が

同乗してくれると安心できる

- ・福祉タクシーを利用し通学支援をしているところに具体的な内容を聞き参考にすると良いと思う

3グループ

- ・移動支援を車利用と通学で認めてくれたら幅が広がるのではないかな
- ・学校から放デイ、自宅への送迎は放デイ事業所がしている為、朝も利用できたらかと思う
- ・学校への引継ぎは原則、家族となっている。引継ぎをオンラインや引継ぎ書でしたら家族の送迎負担が軽くなるのではないかな
- ・移動支援は市が実施するが学校は県で運営、管理しているので通学支援として県の事業でしてくれたら統一した支援ができると考える
- ・送迎が出来ないので学校に行けない児童がいる。

4グループ

- ・訪問看護の単価を上げると事業所は参入しやすいのではないかな
- ・兄弟児支援として現在鳥栖市でファミリーサポートは小3までの利用となっており利用できる幅を増やしてはどうか
- ・久留米市では通学支援はないが在宅レスパイト事業として自宅以外への外出についていくことが可能となっている。通学支援ではなくレスパイト事業としても支援できるのではないかな
- ・タクシー券が使いにくい。

以上